

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年2月2日

上場会社名 日本水産株式会社 （コード番号：1332 東証・大証第1部）

（URL <http://www.nissui.co.jp>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 垣添直也

問合せ先責任者 役職名 総務部長

氏名 山沢光夫

TEL (03) 3244-7181

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度に

おける認識の方法との相違の有無

: 無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(1) 連結売上高

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

	百万円	%
16年3月期第3四半期	380,917	
15年3月期第3四半期		
(参考) 15年3月期	499,810	

(注) 平成16年3月期から四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期の実績および増減率については記載しておりません。

「売上高に関する補足説明」

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善が続くなど一部に景気の持ち直しが見られたものの雇用情勢や個人消費は引き続き厳しく、米国においては企業収益の改善から消費者マインドも好転し景気回復の勢いが増している状況にありました。

当社及び当社グループにおきましては、このような状況下で連結売上高は3,809億17百万円となり、当連結会計期間（平成15年4月1日から平成16年3月31日）の予想売上高（平成15年11月18日修正発表数値）に対する進捗率は75.7%となりました。

水産事業につきましては、年末に向けてもすりみ、えび、かになど主要魚種の市況に大きな回復は見られず、連結売上高は1,766億11百万円となり、当連結会計期間の予想売上高に対する進捗率は75.5%となりました。

加工事業につきましては、チルド事業の拡大や魚肉ハム・ソーセージの販売数量増がございましたが、残留農薬問題による中国産凍菜の販売苦戦に加え、日本における個人消費の低迷から家庭用、業務用の調理冷凍食品の販売も厳しい状況で推移し、連結売上高は1,808億10百万円となり、当連結会計期間の予想売上高に対する進捗率は76.3%となりました。

物流事業、医薬品事業、その他事業についてはおおむね予想通り推移しております。

所在地別では、日本での連結売上高は3,363億93百万円となり、当連結会計期間の予想

売上高に対する進捗率は75.7%であり、北米での連結売上高は362億3百万円で当連結会計期間の予想売上高に対する進捗率は75.0%でありました。

(当該四半期のセグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】 (単位：百万円)

	水産事業	加工事業	物流事業	医薬品事業	その他事業	合計
16年3月期 第3四半期	176,611	180,810	11,872	9,181	2,441	380,917
構成比(%)	46.4	47.5	3.1	2.4	0.6	100.0
(参考) 15年3月期	230,752	237,517	15,888	12,312	3,339	499,810
構成比(%)	46.2	47.5	3.2	2.5	0.6	100.0

【所在地別セグメント情報】

	日本	北米	南米	オセアニア	その他	合計
16年3月期 第3四半期	336,393	36,203	996		7,325	380,917
構成比(%)	88.3	9.5	0.3		1.9	100.0
(参考) 15年3月期	434,300	53,757	1,280	19	10,453	499,810
構成比(%)	86.9	10.8	0.3	0.0	2.0	100.0

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態および経営成績に重要な影響を与えた事象
該当する事象はありません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	503,000	11,000	5,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 18円06銭

業績予想の見直しは行っておりません。

以上